特集

命を育む町 豊岡

コウノトリ放鳥10周年

平成17年9月24日、日本の空から一度は姿を消したコウノトリが再び豊岡の空に羽ばたきました。

コウノトリも住める環境は、私たち人間にとってどんな環境なのか。この10年間の「変わった！」を振り返り、これからの豊岡の町づくりを考えます。　《問合せ》秘書広報課☎23－1114

コウノトリが最後に選んだ地・豊岡

～世界が注目する野生復帰～

最後の生息地

かつて国内各地を悠然と舞っていたコウノトリ。松の木の上に巣を作って、田んぼや川などの湿地で餌を捕りながら暮らしていました。

しかし、明治になり狩猟が解禁されると、格好の的になり、鉄砲で撃たれ数を減らしました。第2次世界大戦のころには、松の木が大量に伐採され営巣地やねぐらを失いました。さらに、戦後には田んぼや川が改修され、生息環境が大きく変化。追い打ちをかけるように強い農薬を使った農業によって、昭和46年、日本の空から姿を消しました。

保護増殖から野生復帰へ

豊岡では、コウノトリが姿を消す前の昭和40年から人工飼育を開始。本格的に保護増殖を始めました。四半世紀にわたる苦難の歴史を経て、平成元年に待望のひなが誕生。順調に飼育数が増えはじめると「飼育下のコウノトリを野生へ帰すこと」そして「コウノトリも住める環境をつくること」に目標が膨らんでいきました。

平成17年9月、日本の自然界でコウノトリが絶滅してから34年の月日を経て、コウノトリは再び私たちの町の空を舞いました。

世界が注目する野生復帰

平成19年5月、国内の自然界で43年ぶりにひなが誕生し、同年7月に巣立ち。その後もコウノトリは自然界で順調に数を増やし、今年は野外で100羽目の巣立ちを記録しました。野外で誕生し、巣立ったコウノトリが韓国に飛んで行くなど、コウノトリは世界と豊岡をつなぐ懸け橋となっています。

私たちの町は、人里の暮らしの中で大型鳥類の野生復帰に取り組む、世界でも類を見ない挑戦を続けています。私たち「人」の関わりが、コウノトリの生息を支えているのです。

《コウノトリの1年》

●雪が降ると、餌を探すのもひと苦労

●下旬、そろそろ巣を作ろうか。

●巣が完成、そして産卵

●夫婦交替で卵を温めます。

●ひなが誕生。さっそく餌のおねだり

●子育てに忙しい時期です。

●ひなは巣立ちし、一人前に

●自分で餌を捕る練習中

●親子で川遊び

●稲刈りの済んだ田んぼも大好き

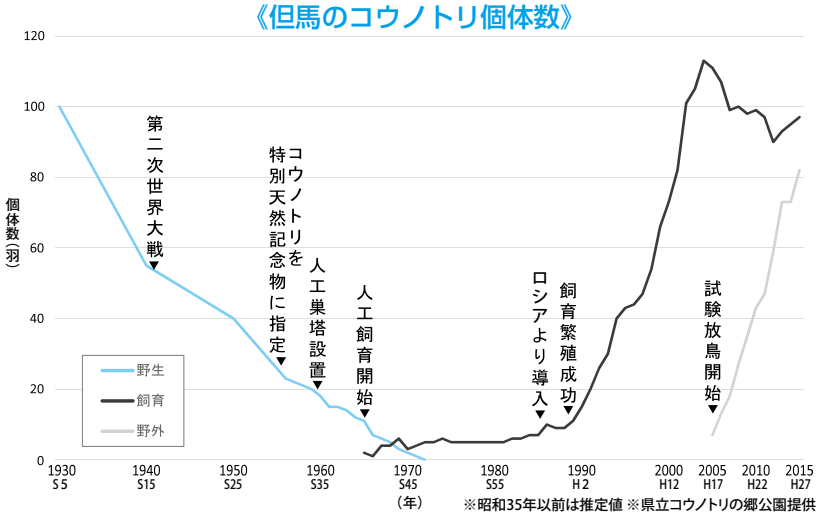
●そろそろ親の元を離れて、大空を飛びまわります。

●見合いをしている仲間もいます。

コウノトリ保護・野生復帰の歴史

昭和30年	「コウノトリ保護協賛会（昭和33年に『但馬コウノトリ保存会』に改称）」発足。官民一体で保護運動開始
昭和31年	国の「天然記念物」から「特別天然記念物」に指定変更
昭和34年	百合地区の水田に人工巣塔を設置
昭和40年	野上区に飼育場が完成。人工飼育を開始
昭和46年	豊岡市内で保護された野生最後の１羽が死亡。コウノトリは日本の野外から姿を消す
昭和60年	ロシアから６羽のコウノトリを受贈
平成元年	飼育場で初の繁殖に成功（人工飼育開始から25年目）
平成６年	コウノトリの野生復帰構想を策定
平成11年	県立コウノトリの郷公園が開園
平成12年	市立コウノトリ文化館が開館
平成15年	コウノトリ野生復帰推進連絡協議会を設置 県がコウノトリ野生復帰推進計画（１期）を策定
平成17年	コウノトリの試験放鳥を開始
平成19年	放鳥したコウノトリから国内の自然界で43年ぶりにひなが誕生し、46年ぶりの巣立ち
平成23年	福井県越前市で２羽（ペア）の人工飼育開始
平成24年	放鳥コウノトリから生まれた第２世代同士がペアとなり、初めて第３世代が巣立ち 豊岡市外（京都府京丹後市）でも営巣、３羽が巣立ち 朝来市・養父市で人工飼育開始
平成25年	朝来市・養父市でひなが誕生し放鳥
平成26年	福井県越前市でひなが誕生 豊岡生まれのコウノトリが韓国慶尚南道（キョンサンナムド）に飛来
平成27年	千葉県野田市でコウノトリ放鳥 韓国慶尚南道禮山郡（イエサン）でコウノトリ放鳥

《但馬のコウノトリ個体数》



※昭和35年以前は推定値 ※県立コウノトリの郷公園提供

コウノトリってこんな鳥

国指定特別天然記念物

くちばしの黒いコウノトリは世界に２千～３千羽程度しかいません。絶滅寸前の鳥です。

非常にグルメで大食漢

肉食性で、水辺の魚やカエル、草地の昆虫、ヘビなどを食べます。コウノトリが生きていくためには、豊かな生態系が必要です。

マイホーム

木の上に枝を組み合わせて直径約２ｍの巣を作ります。数羽のコウノトリが乗っても壊れない丈夫な大木が必要です。

学名／Ciconia boyciana（キコニア ボイキアナ）
体高／110～150㎝
翼長／約２ｍ
日本に住む鳥では最大級
体重／4.5～5.5kg
色　／黒：風切り羽・くちばし
白：風切り羽以外の羽
赤：両脚・目の周り